

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 6年 2月 7日

公表: 令和 6年 3月 4日

事業所名 チャイルドウイッシュちりゅう

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|----------|---------------------------------------|--|----|--|---|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 9 | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 8 | 1 | | |
| | 3 | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | 6 | 3 | イラストなどを用いて分かりやすいようになっている | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | 9 | | | |
| 業務改善 | 5 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 6 | 3 | | 業務予定の効率化のため、週の予定表を作成し視覚的に確認、振り返りができるように掲示している。 |
| | 6 | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 9 | | | 自己評価で出た意見については、職員間で検討会議を実施し、可能な限り意向の反映、改善に努めていきます。 |
| | 7 | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 8 | 1 | 毎年ホームページにて公開を行っている。 | おたより等での公表については、検討していく。 |
| | 8 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 4 | 5 | | 外部評価は実施していないため今後実施していきたい |
| | 9 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 9 | | 定期的に内外の研修へ参加している | 引き続き、研修受講に努め、スキルアップを目指しよりよい療育の提供に努める。 |
| 適切な支援の提供 | 10 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | 9 | | 家庭での様子、保護者の方のお困りごとなどへの聞き取りを行い、課題の共有等を行い、個別支援計画へ反映している。 | |
| | 11 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 8 | 1 | | |
| | 12 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | 9 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | 9 | | | |
| | 14 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 7 | 2 | 朝のミーティング等でイベントについて話し合うことが出来ている | |
| | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 8 | 1 | イベントは療育に特化し、かつ楽しめる内容をスタッフ間で検討し、反映している。 | 楽しく、かつ療育に特化したイベントなどを引き続き提供できるように、スタッフ間でも話し合いを進めていく。 |
| | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | 9 | | | 作業療法士、言語聴覚士による個別療育を取り入れ、集団療育と組み合わせることで引き続きより良い療育を提供していきます。 |
| | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 7 | 2 | 支援開始前には、ミーティングを行い、支援内容や前日等の振り返りを行うことで確認や改善へ努めている。 | |
| | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 2 | 7 | 必要に応じて振り返りをする時間を設けているが、基本的には次の日のミーティング、至急の周知についてはラインを活用 | |
| | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 9 | | | 検討が必要な事項については、ミーティングに共有、検討していきます。 |
| 20 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | 9 | | 定期的にモニタリングを行い、検討会を実施することで見直しをする機会を設けている。 | | |

| | | | | | | | |
|--------------|----|--|---|---|---|---|-------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 9 | | 児童発達支援管理責任者を中心とし参加をしている。会議内容については、ミーティングにて周知を行っている。 | | |
| | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | 8 | 1 | | | |
| | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | | 9 | | |
| | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | | 9 | | |
| | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 8 | 1 | | | |
| | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | 8 | 1 | | | |
| | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 8 | 1 | | | |
| | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 3 | 6 | | | 現状は交流の機会がないので機会があれば一緒に活動も視野に入れていきたい |
| | 29 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | | 9 | | 参加する機会があれば積極的に参加していきたい。 |
| | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 9 | | | モニタリング、家庭連携にて保護者と課題等に対して話をする機会を設け、共通理解に努めている。 | |
| | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている | 3 | 6 | | 日々のラインや送迎時のやり取りを通して共通理解をしている | |
| 保護者への説明責任等 | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 9 | | | いつでも閲覧できるように掲示物としても対応している。 | |
| | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | 9 | | | | |
| | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 8 | 1 | | モニタリングや送迎時に保護者の方のお話を通し、問題や悩みの早期解決を図っている | |
| | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 1 | 8 | | | コロナ下で実施を見送っていたママ会については実施する方向で進めている。 |
| | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | 9 | | | モニタリングや送迎時に保護者の方のお話を通し、得た情報を翌朝のミーティングでスタッフ間で共有し改善を図っている | |
| | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 9 | | | チャイルド通信や療育だより等の会報を発行し予定や情報の共有をしている | |
| | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意している | 9 | | | | |
| | 39 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 9 | | | | |
| | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 3 | 6 | | | |

| | | | | | | |
|---------|----|--|---|---|--------------------------------------|--|
| 非常時等の対応 | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | 8 | 1 | 緊急時に対応等については、スタッフや保護者へは文書にて周知を行っている。 | 災害、感染症などを想定し、研修を重ねることで、迅速かつ的確に対応ができるスキルを身に付けていきます。 |
| | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 9 | | 年に2回避難訓練を実施している | |
| | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | 9 | | | アセスメント時など確認の徹底をしていきます。 |
| | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 9 | | | |
| | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 8 | 1 | | |
| | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 9 | | 年に1回の研修を義務化している | 定期的に委員会の開催を行い、事例などを通してケース検討を行い、虐待防止への取り組みを行います。 |
| | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | 9 | | | 定期的な委員会の開催を行います。 |

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。